

■得点力をアップさせるための模試活用法を皆さんにお伝えします！■

本試験を勝ち抜くための模試活用法

●はじめに…「2015年度から1次日程が変更となる試験があるようです」

〈2015年度予定※〉		〈2014年度実施例〉
4月	4/ 5(日)	
	4/12(日)	
	4/19(日)	
	4/26(日)	●★国家総合職 4/27(日)
5月	5/ 3(日) 大阪府(5月実施:22—25歳)	●★東京都I類B・特別区I類 共に5/4(日)
	5/ 4(月) 参議院事務局総合職	
	5/ 9(土) 衆議院事務局一般職	
	5/10(日)	
	5/17(日) 北海道(一般行政A)	
	5/24(日) ★国家総合職 ←	●★国大法人等職員 5/18(日)
	5/31(日) 東京都I類A	
6月	6/ 7(日) ★東京都I類B/★特別区I類 労働基準監督官B/食品衛生監視員	
	6/14(日) 国家一般職	
	6/21(日) 県・政令指定都市・市役所(A日程)	
	6/28(日)	
7月	7/ 5(日)	
	7/12(日)	
	7/19(日)	
	7/26(日) 市役所(B日程)	
8月	8/ 2(日)	
	8/ 9(日)	
	8/16(日)	
	8/23(日) ★国立大学法人等職員 ←	
	8/30(日)	
9月	9/ 6(日)	
	9/13(日)	
	9/20(日) 市役所(C日程)	
	9/27(日) 北海道(一般行政B)	
10月	10/11(日) 大阪府(10月実施:26—34歳)	

※日程は今後とも変更される可能性があります。
最新情報は人事院 HP および各自治体 HP 等をご確認ください。

◆模試活用法…模試って、「順位を競う」ためのものではないようです。

2・3月～5月はさまざまな場所で模試が行われると思います。模試を受けた後に考えることは、「得点」でも「順位」でもないと思いたいです。模試は「本試験で力を発揮できるための練習・訓練・前哨戦」です。なので、得点や順位は気にしません。本当に気にするものは

問題個々の正答率…たくさんの人が正解している問題、自分は正解しているか？

というものです。言い換えれば、

たくさんの競合者の中で、自分はどのくらいの位置にいるか
たくさんの競合者の中で、自分の得点の傾向はどんなものか

を知るためのものです。「模試結果の順位が高い」＝「良い」,「模試結果の順位が低い」＝「悪い」というわけはありません。また、「得点が高い」＝「良い」,「得点が低い」＝「悪い」ということもありません。■例：教養択一

試験で見るとべきポイント

本番までに改善			本番までに解けるようにしたい	知能系なら解き方、知識系なら答えのみ暗記してみる
もっとがんばりましょう	がんばりましょう	ふつう	よくできました	たいへんよくできました
正答数が80%以上の問題で自分が不正解	正答数が60%～80%の問題で自分が不正解	正答率が40～60%の問題で自分が不正解	正答率が40～20%の問題	正答率が20%以下の問題

まずこの攻略を。得点不足を補う。

合否の分かれ目

安心向上・上位圏内

無理しないで！

※あくまで目安ですが、本試験までに「がんばりましょう」、「もっとがんばりましょう」の問題を正答できるようにする。

		受験者全体(まわり)	
		(できる)正解	(できない)不正解
自分	できる(正解)	②通常どおり。これまでの学習を継続。	③ 強み！ これまでの学習を継続。
	できない(不正解)	① 最優先で学習・復習を！	④後回し。解けるに越したことはないが、優先すべきはここではない！

「学習途中(or始めたばかり)なので、模試の結果は期待できない…と思う人にこそ、模試の受験励行！

利点1：得意科目(分野)と不得意科目(分野)がはっきりわかる。

利点2：これから本試験までの学習プランと必要学習量を具体化できる。

利点3：「学習をせずに本試験を受けた人」のイメージができる。

→「雰囲気やプレッシャーの練習、しておいてよかった…」

★公務員試験「でも」受けてみようかな、という受験生をいかに出し抜くか。

では、実際模試を受験する際のポイントを受験時から順に述べていきます。

》マークシートや問題用紙、注意事項が配布されました。

■必要事項記入の確認

(記入漏れ、ミスはないか。毎年、記入ミスが原因の「採点不可能」が本試験で発生)

■注意事項の確認

提出後に気づいても後の祭り。試験のルールや特記事項を読み込む。

》試験開始です！

■時間感覚を研ぎ澄ます

時間を気にしながら1問でも多く正答するために、「問題を選ぶ」感覚はあらゆる試験で重要。

問題選択の練習は模試でしかできない。

★一般知能先行タイプ…プラン設定型…自分の好き・得意な問題から。時間配分に注意！

★一般知識先行タイプ…先制点奪取型…1問1問を短時間で。マークの空をつくらない！

*まず全体をざっと見る。【問題1】から取り組む必要はなし。

*模試ごとにタイプを変えて、自分によりよい戦略を練ることも有効。

■計算スペースはきれいに使う。

「ノートに書く」くらい見やすく、斜めでなく直線に書くことを薦めます。また、問題を解くときに、右方に縦線を1本入れ、左側は「式と図スペース」(もちろん広く取る)、右側は「計算専用スペース」(わかる範囲で狭くとる)に分けて使うと見直しがスムーズになります。

》試験終了です。解答解説を配布します(模試なので)。

■得点力を広げる

終了後は自己採点。間違いの原因を追究する。

①単純なミス…再発しない方法は？

②5択 → 絞った上での誤り…大切な経験。本試験で出くわす類題を得点源にする。

③まったくわからず…後日送られる成績表を確認。

(i) 他の受験生も間違えていた(正答率15%未満)

…本当に難しい問題。解答解説をしっかりと利用する。優先度は低い

(ii) 他の受験生はほとんど正解していた(正答率65%以上)

…要学習。自分の弱点を知るチャンス

(iii) 受験生のおよそ半数は正解、半数は誤り(正答率15%以上65%未満)

…1次合格と1次不合格を分ける問題。

最後に

- 1 技術職も行政・事務職も、教養試験の問題は同じものを使う場合がほとんど。
- 2 技術職も行政・事務職も、論文試験の問題は同じものを使う場合がほとんど。
- 3 教養試験の傾向は、国家公務員・地方公務員を含め似ている部分が多い。
→技術職専用の模試に加え、行政・事務職の模試(教養試験+論文)も十分価値アリ。

まとめ…模試を受験するメリット

① 雰囲気味わい

本試験に近い雰囲気、本試験同様の時間を使った問題演習ができる。

技術系にとっては馴染みの薄い、教養論文の練習ができる。

復習すべき科目や分野の問題を手に入れられる。

最新の時事問題を手に入れられる。

② 結果を知り

受験数(母数)が多いので、統計がより本試験に近い。

③ 位置を確かめ

今年の受験者における、自分の状態(科目のバランスや得意・不得意)をはっきりできる。

④ 情報を分析し

全体の状況と自分の状況を比べて、どの科目のどの分野がまず必要かを考えられる。

⑤ 弱点を強化し

一般知能、一般知識、専門、論文ごとに復習するポイントを具体的にできる。

⑥ 方針を練り上げ

本試験時の戦略(解く順番、時間の振り分け、マークシートの使い方など)を考えやすい。

科目に特化するのではなく、総合点で考えることができる。

⑦ 本試験に活かす

漫然と学習をするのではなく、目標と方針を持った学習ができる。

〈公開模試のご案内〉

「自分のいま」を知り、「自分のこれから」に役立てる公開模試。受験してみませんか？

TAC × **W** セミナー

2015年合格目標

公務員公開模試

大卒
程度

東京都I類B(一般方式・新方式)／特別区I類／地方上級
国家一般職(行政・技術系)／裁判所一般職(裁判所事務官／大卒)
国税専門官／財務専門官／労働基準監督官A
国家総合職／外務専門職／警察官(大卒)／消防官(大卒)

本試験を徹底的に分析予想!
TAC・Wセミナーの公開模試で
公務員試験を勝ち抜く!!

毎年多くの受験生が支持!

受験者数

4,996名

2014年合格目標 第3回公開模試
[国家一般職(行政)] 受験者数

全国各地で受験可能!

実施会場

全国 **37** 会場

2015年合格目標 第1回～第4回公開模試
[地方上級・国家一般職] 実施予定会場数

実施期間 **2/13(金)～5/3(日)** 自宅受験もOK!

NEW

新たに神戸市(法律)、国家一般職(技術系:
化学／電気・電子・情報区分)を実施!

資格の学校
TAC

W セミナー
WASEDA

174-0202-1042-10